

「わが子を医者にしたい親御さんに絶対に知っておいてほしいこと」

こんにちは、熊野です。

いつも私のメールをお読みいただき、本当にありがとうございます。

このレポートでは、「わが子を医者にしたい親御さんに絶対に知っておいてほしいこと」というプロジェクトのご案内をします。

わが子を医者にするためには、親御さんは次の3つのことを意識することが重要です。

1. 医者という仕事について本当の意味で理解する。
2. なぜわが子を医者にしたいのか、理由を選択し、明確にする。
3. 医者になるための具体的な道のりを知り、わが子の教育環境を用意する。

そこで本プロジェクトでは、この3つのポイントを軸に、医者の世界における秘匿性の高いノウハウをお伝えするカリキュラムをご用意しました。

プロジェクトの「受講方法」について

「わが子を医者にしたい親御さんに絶対に知っておいてほしいこと」
は、ご自宅で受講していただくビデオ講座です。

あなたがお申し込みされると、「ビデオ講座のご案内」をメールで
お知らせいたします。

ご案内に記載しているアドレスにアクセスしていただくと、メンバー
ページでビデオ講座を視聴していただけます。

ビデオ講座には、ひまわりの教室で保護者の方にお伝えしているノ
ウハウが、そのまま詰め込まれています。

今あなたがどこにお住まいでも、毎日家事やお仕事で忙しくても、
場所や時間を問わずに、ご自分のペースで受講していただけます。

お手持ちのパソコンやタブレット、スマートフォンで受講できます
ので、教室に集まっていただく必要はありません。

「わが子を医者にしたい親御さんに絶対に知っておいてほしいこと」
の大切な目的は、医者という仕事を理解し、医者になるための具体的な方法を本質部分から学び、身につけていただくことです。
医者になった本人である私と、わが子を医者に導いた大平先生が協力し、膨大な量の教育法を詰め込んでいます。
全てを実践に移すのは大変ですが、一つ一つが濃いノウハウとなっていますので、部分的な実践でも大きな変化が期待出来ます。
まずは実践できる部分から行動に移してみてください。

それでは、次ページから講義内容の詳細をご紹介します。

■メインセミナー(講師：熊野)

「わが子を医者へと導くために 親が押さえるべき3つのポイント」

お子さまを医者へと導くためには、細かな知育法や高いレベルの勉強法など、やるべきことがたくさんあります。

ただ、それらの具体的方法を最大限に活かすためには、親御さん自身が知っておかなければいけないことが3つあります。

パート1：

医者という仕事について本当の意味で理解する

こちらのパートのなかでは、医者仕事を実際に経験し、一般企業も経営している熊野だからこそ語れる、「医者仕事の本質の部分」についてお話しします。

一般的には、医者仕事というと、人を救う素晴らしい仕事である、収入が高くて安定している、社会的な尊敬が得られるという表面的な部分しか表に出ていません。

しかし、医者の仕事にはこれ以外のメリットもたくさんありますし、実際に医者になった人にしか分からないデメリットの部分もあります。

このようなメリット、デメリットを、私が知っている範囲ですべて包み隠さずにすべてをお伝えしていきます。一般の人が知らないような部分、ネットでは出てこない深い情報についても、触れていきます。医者以外の仕事と比較して、医者の仕事がどんな点が優れているのか、逆にどんな点がデメリットなのかについても、例をあげながら、分かりやすく解説します。

また、医者という仕事のなかでは、主に“**7種類のパターンの働き方**”が存在しています。すべてのパターンがどんな働き方であり、どういうメリットがあるのか、という部分についても徹底的に解説します。医者という仕事について幅広い視点から多角的に理解することによって、お子さんをどんなふうに導けばよいのかが鮮明にイメージできるようになるかと思います。

パート2： なぜわが子を医者にしたいのか 理由を選択し、明確にする。

こちらのパートでは、単純に、「収入が高くて安定している」「社会的に周囲から評価され、感謝される」という表面的な部分だけではなく、「医者の仕事は本当はどんなメリットがあるのか」という部分を突き詰めていただきます。

お子さまを医者にしたい理由が明確になることで、お子さまとのコミュニケーションをより深く取ることができますし、お子さまと一緒に将来を見据えた詳しい話ができます。また、親御さん自身が自信を持ってお子さまを導くことができますので、モチベーションも高くなります。

単純に、「将来が安定している」「お医者さんは感謝される」「カッコいい仕事だね」というだけの理由でお子さんを導くのとは比べて、お子さんへの説得力が大きく変わってきます。本当の意味で、どういう点が魅力的で医者を目指すのか。ここについて、親御さんのビ

ジョンを明確にし、最終的にはそれを親子で共有できるような土台を作ります。

また、学力において最上位レベルの灘高校出身の人たちのなかには、「医者になった人」「医者にならなかった人」の両方がおられます。学力で最高レベルだった学生たちが、医者になった場合、医者にならなかった場合に、どのように違うかを検討し、医者という仕事についてのメリット、デメリットを検証した結果を説明していきます。もちろん熊野の私見ですのでエビデンスはないですが、その分、表には出ていない生々しい話になります。

パート3： 医者になるための具体的な道のりを知り、 わが子の教育環境を用意する。

こちらのパートでは、「わが子が医者になるための道のりを知り、成功率が高い教育環境を用意する」という内容をお伝えします。

お子さまを医者に導くためには、当然のことながら、勉強ができることが重要です。そのため、思考力を培ったり、地頭を鍛えておくことは言うまでもない重要事項です。

ただ、これはお子さまを医者にする、しないに関わらず重要なことだと言えます。こちらのパートでは、お子さまを医者に導くという目的が明らかな場合、「幼少期、小学校時代にはどんなことを意識すればよいのか」という部分をお伝えします。

そして、お子さまを医者にしたいなら、“**中学校以降の教育**”もかなり重要になります。中学受験を突破すれば、それでゴールではありません。私はお子さまを医者にした親たちをたくさん見てきています。ですから、お子さまを医者にした親が、中学校以降、子供にどんな関わり方をしてきたかを知り尽くしています。

実は、ここが結構な盲点になっています。中学校以降、親がどのようなスタンスで子供に関われば成功する可能性が高くなるのかについて、熊野が経験したデータをもとにお伝えしていきます。

■実践セミナー(講師：熊野、大平)
**「わが子を医者にした親が伝授する
理数系の早期教育」**

二人のお子さまを京都大学医学部と大阪大学医学部に合格させた“親のプロフェッショナル”大平先生から、親視点による医者の世界をお伝えします。親がどのようにお子さまを導いていけば良いのか？その実践的な方法を学べる機会になるでしょう。

第1回：
親視点による医者の仕事のメリットデメリット

実際にお子さま2人を医者育てた大平先生は、医者と言う仕事をどのように捉えているのか？親視点の医者の仕事のメリットデメリットについて解説します。

第2回：
わが子が医者を目指すきっかけの作り方

わが子が医者になりたいと思うきっかけは、親はどのようにして作れば良いか？実際に大平先生のお子さまが、医者を目指したきっかけを元に、効果的なきっかけ作りをご紹介します。

第3回： 理数系の思考力を培うための土台作り

医学部に合格するためには、理数系の土台を作ることがとても重要です。理数系に強い子供に育てるためには、幼少期、小学校時代にどんなことを意識すれば良いか？大平先生が実際にお子さまに実践した教育法をもとに詳しく解説します。

以上、講義内容をご紹介しましたが、ここに書かれている内容は、あくまでもセミナーのごく一部です。

今回のレポートでは、本プロジェクトの詳細についてお伝えしました。最後まで読んでくださって、ありがとうございました。

幼児教室ひまわり

熊野貴文、大平博美